

履歴書

氏名 三田 一郎 (A. I. Sanda)

学歴 中学2年で父の転勤のため渡米

1962年 6月 Evanston Township High School 卒業

1965年 6月 イリノイ大学工学部物理学科卒業

1965年 9月 プリンストン大学大学院入学

1969年 6月 同 博士課程 修了



職歴

1969年 6月- 71年 8月 コロンビア大学 研究員

1971年 9月- 73年 8月 フェルミフェルミ研究所 研究員

1974年 9月- 81年 8月 ロックフェラー大学 助教

1981年 9月- 88年 8月 ロックフェラー大学 上級研究員

1988年 9月- 91年 2月 ロックフェラー大学 准教授

1992年 3月- 2006年 名古屋大学理学部教授

1992年 4月-1994年 3月 高エネルギー物理学研究所 併任教授

1993年 11月-1994年 3月 東京大学大学院理学系研究科 併任教授

1997年 4月-1999年 3月 東京大学宇宙線研究所神岡 併任教授

1997年 4月-1999年 3月 名古屋大学理学部物理学科長

2002年 4月-2004年 3月 名古屋大学教養教育院総括部専任、自然科学部門長、財務・財政委員長、安全委員長

2005年 4月- 2006年 3月 名古屋大学教養教育院 副院長 総括部専任 自然科学部門長、財務・財政 委員長、安全委員長

2005年 10月-2011年 日本学術会議会員

2006年 4月- 現在に至る 名古屋大学名誉教授

2006年 2月- 2012年 南山大学宗教文化研究所、客員研究所員

2006年 5月- 現在に至る 名古屋教区終身助祭 カトリック東京カテドラル関口教会

2006年 4月- 2014年 3月 神奈川大学 工学部教授

2008年 4月- 2010年 3月 31日 物理教室主任

2008年 4月-2011年 3月 聖母学園 理事・評議員

2007年- 現在に至る Program Officer Kavli Institute for the Physics and Mathematics of the Universe. 東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構 のプログラムオフィサー (外部審査委員会委員長) 日本学術振興会 非常勤

受賞

第10回(平成5年度)井上學術賞 「B中間子系でのCP不変性の研究」

第43回(平成9年度)仁科記念賞「B中間子系でのCP対称性の破れの理論」 第

55回(平成14年度)中日文化賞「B中間子におけるCP対称性の破れの理論」 平

成14年秋の紫綬褒章「長年の素粒子論への貢献」

2004年 J. J. Sakurai 賞(米国物理学会賞)

第6回(平成27年度)折戸周治賞「B中間子崩壊における大きなCP対称性の破れの理論研究

平成29年秋の瑞宝中章

その他

1980年-1987年 Lifecodes Adviser (世界最初にDNA判定手法をマーケットした4人の発案者の1人)

1992年 4月 1995年 3月 トリスタン物理実験委員会 委員
1993年 10月 日米高エネルギー物理学研究協力事業実施委員
1993年 4月 基礎物理学研究所 研究部員
1995年 4月-2002年 3月 高エネルギー物理学研究所 Lepton Collider Program Advisory 委員長
1995年 1月 基礎物理学研究所 運営委員
1997年 1月-2000年 12月 学術審議会専門委員(科学研究費分科会)
2000年 8月 1日—2002年 7月 31日 日本学術振興会特別研究員等審査専門委員
2002年 12月 高エネルギー物理学研究所 Super Computer Center 評価委員 委員長
2002年 2月 2日—2003年 1月 31日 科学技術・学術審議会専門委員(科学研究費分科会)
2003年 2月 高エネルギー物理学研究所 評価委員
2003年-2005年 7月 31日 日本学術振興会 特別研究特別研究員等審査専門委員
2005年-現在に至る 日本学術振興会 特別研究特別研究員等審査委員

その他

1. “B Physics CP Violation BCP1 1994”、共、1994年、World Scientific、編集 BCP1 国際会議、(共同研究につき本人分抽出不可能)
2. “CP Violation”、共、1999年、Cambridge University Press、大学院・研究者に向けてCP対称性の破れの基礎をくわしく説明。(p p 1~382) (共同研究につき本人分抽出不可能)
3. “B Physics CP Violation BCP4 2001”、共、2001年、World Scientific、“編集 BCP4 国際会議 (共同研究につき本人分抽出不可能)”
4. “CP 非保存と時間反転 岩波講座 物理の世界”、単、2001年、岩波書店、大学生・一般のかたにCP非保存と時間反転について説明
5. “失われた反世界 素粒子物理学で探る2”、単、2002年、クバプロ、特定領域終了後、大学生・一般のかたにCP非保存と時間反転について説明
6. “神の大いなる計画 翻訳”、共、2003年、サンパウロ、フィオ・マスカレンハス師の本を翻訳
7. “科学者はなぜ神を信じるのか” 2018年 講談社 BLU BACKS